

ハイパフォーマンスコンピューティングが拓く固体地球科学の未来 総合討論 Creating future of solid Earth science with high performance computing (HPC): Conclud- ing discussion

日野 亮太^{1*}, 本蔵 義守², 金田 義行³, 有川 太郎⁴, 市村 強⁵, 前田 拓人⁵, 堀 高峰³

Ryota Hino^{1*}, Yoshimori Honkura², Yoshiyuki Kaneda³, Taro Arikawa⁴, Tsuyoshi Ichimura⁵, Takuto Maeda⁵, Takane Hori³

¹ 東北大学, ² 東京工業大学, ³ 海洋研究開発機構, ⁴ 港湾空港技術研究所, ⁵ 東京大学地震研究所

¹Tohoku University, ²Tokyo Institute of Technology, ³JAMSTEC, ⁴Port and Airport Research Institute, ⁵ERI, Univ. of Tokyo

ハイパフォーマンスコンピューティング(HPC)のめざましい進歩は、固体地球科学をどのように変えるだろうか? 招待講演を含む多角的な視点からの講演をうけ、今後10~20年という時間スケールで、HPCと固体地球科学との関わりを議論します。重要な科学的課題の解決とその成果の社会還元を視野にいれ、HPC開発の方向性に対する提言を、非講演者も含めた参加者の意見をもとに取りまとめます。その成果は、将来のHPCIシステムのあり方調査研究で改訂が進められている「計算科学ロードマップ白書」に反映させることを意図しています。

キーワード: ハイパフォーマンスコンピューティング

Keywords: High Performance Computing